

Zimmermann.

Grand & Upright Pianos



DESIGNED BY C. BECHSTEIN

音楽、そしてピアノと伴に歩む

ベビシュタインがデザインする新たなピアノ“ツインマーマン”は、音楽を楽しむ方々に日々の生活に新たな潤い・感動をもたらしてくれます。また、ある時は私たちを勇気付け、励ましてくれます。例えば落ち込んだ時に音楽を聴くことにより新たな一歩を踏み出すことが出来たということは、多くの方が経験されたことがあるのではないのでしょうか。「音楽は世界共通のことば」「音楽に言葉は要らない」と言われますが、「音楽」というものはまさに作曲家の魂であり、そこには熱い想いが込められていて、私たちの心にダイレクトに響きます。つまり音楽に触れることにより私たちは古今東西を問わず音楽家からエネルギーを得、毎日の生活をより豊かなものへと変えることができるのです。

また、ピアノを演奏するには高い集中力と想像力が要求されます。指先にまで神経を行き渡らせ、曲想を充分に頭の中に描かなくては、演奏は決して成立しません。つまりは、ピアノを演奏するということは弾く人の感性や忍耐力を育み、結果として我々の人生に新たな一面を切り開いてくれるのです。また、楽譜から得た情報を自分なりに咀嚼し、それを表現することは、私たちに新たな表現力をもたらしてくれるでしょう。我々は普段もっぱら言葉によって感情を表現しています。しかし、そこをあえて言葉を用いず自らの感情を表すということは一生物である我々の根源的表現方法と呼び起こしてくれるのではないのでしょうか。言葉は表面的に用いることにより中身を覆い隠すことが出来ます。もちろんこうした本音と建前は社会を生きていくにあたり欠かすことのできない行為です。しかしながら体の奥底から湧き上がる想いを体全体でストレートに表現するという行為は、言葉と文字に支配された今日にこそむしろ必要な活動なのではないのでしょうか。

この様に音楽は魅力にあふれたものです。しかしながら音楽はいつの時代も敷居の高さと同義として扱われていてしまい、特に自ら演奏するという行為は広く行き渡っていないのが現状です。これにはまず音楽を表現する楽器自体が高価であるということが大きく関係します。そして、特にピアノの場合は極めて複雑な構造であるアクションを持ち、ある意味ブラックボックス化していて他の楽器と異なり、演奏者と楽器の保守点検を行う人が別々で、本当の意味で優れたピアノとは何なのか、ということがなかなか演奏者自ら判断しにくいという問題があります。こうした問題を一気に解決するのがツインマーマンです。「本物のピアノをお求め易い価格で」というのがこのツインマーマンの最大の特長です。価格と品質というものはもちろん相反するものではありませんが、そこをあえて切り崩し、少しでも多くの方々にピアノに触れてもらうためにこの大きな課題に立ち向かったのです。製造にあたり譲れる所とそうでないところを明確に区分し、まさに選択と集中により品質を維持しつつコストダウンを図ったのです。

先にも記しましたように、ピアノは複雑なアクション構造により発音する楽器です。鍵盤を打鍵することにより楽器に加えられた作用は多くのアクション機構を経てようやく音になります。よってアクションは潤滑に動き、指の動きを余すところなく音に表してくれる精巧さが求められます。これで初めて演奏者は自らの想いを音にし、楽器の反応をみることができ、演奏する喜びを更に感じる事ができるのです。そしてこれを可能にするには本物のピアノが必要なのです。優れた品質を持ちながら価格を抑える、この相反する課題を見事に克服したのが“ツインマーマン”なのです。





何故ベヒシュタインに よる設計でなければ ならないのか

練習を重ねていく過程において、その変化・進歩にきっちりと応えてくれるピアノであるかどうかということはとても重要になります。いくら練習を積んでもそれに応えてくれないピアノでは折角のやる気が削がれてしまいます。良い意味で演奏者の長所・短所をはっきりと教えてくれる反応力を持ったピアノで練習するということは、進歩を目指す上で重要であり、これにより毎日新たな発見をし、もっと弾きたいという欲求を呼び起こすのです。まさに噛めば噛むほど味わい深くなるとはこのことなのではないでしょうか。そしてこれを可能にするには、ピアノが高い品質を有していることが条件となります。

ベヒシュタイン社はピアノの本場ドイツで160年以上の永い伝統と実績を持ち、これらに裏付けされた確かな技術力を育み続けてきました。こうした技術を結集させ、細部にまで強いこだわりを持った新しいピアノが演奏者の想いに応える”ツインマーマン”なのです。



文化活動は人々の教養をより深いものにしますが、ピアノもこうした重要な役割を担ってきました。人々はピアノから力を貰い、その代わりとしてピアノメーカーへ投資し業界を盛り上げ、いわばピアノとの共存関係を築いてきたのです。こうしたことにより、ヨーロッパにおいてピアノ製造は一大産業となり得たのです。

ヨーロッパはピアノ音楽発祥の地ですが、1900年頃には数えきれないほどのピアノメーカーが存在していました。しかし、優れたピアノ製造技術を持ち、更にそれを維持発展させることができたメーカーは数少なく、時とともに淘汰され世界的に有名なメーカーになるまでに成功できた会社はほんの一握りです。そして、ツインーマンはその数少ないメーカーの一つなのです。



ツインーマンの歴史、そしてベヒシュタインとの出会い

こツインーマンの歴史をひもといてみましょう。ツインーマンは1884年にマックス・ツインーマンとリヒャルト・ツインーマン兄弟によって、ライプツィヒ郊外のメルカウという町にピアノ製造工場(Leipziger Pianofortefabrik Gebrüder Zimmermann・ツインーマン兄弟・ライプツィヒ・ピアノフォルテ工場)が作られたことに端を発します。1895年には既に120人の従業員が製造に従事していました。そしてそれから僅か20年後の1904年にツインーマンの生産高は、数多

くのブランドが誕生し、ピアノ製造全盛期を迎えまさに群雄割拠であったヨーロッパの中で2番目に大きなピアノ工場にまで成長します。そして、アイレンブルク、ゴータ、そして今日ベヒシュタインの工場があるザイフェナースドルフといったドイツのピアノ製造拠点が加えられ、会社の規模を更に拡大させていきました。しかしながら二つの世界大戦はツインーマン社に大きな打撃をもたらしました。生産は大きく減少し、会社は大きな岐路に立たされることになりました。さらに戦後ドイツは東西

に分断され、社会主義政権となった旧東ドイツでは全ての民間企業は国に接収され、国営化されました。ツインーマン社もちろん例外ではなく1946年にはツインーマンの生産はVEB Sächsische Pianofortefabrik Seiffennersdorf(VEB ザクセンピアノ工場・ザイフェナースドルフ)の傘下で再出発をすることになったのです。ここからツインーマンはV字回復を遂げ、当工場の生産高は年間8,000台にも達し、35か国に輸出するヨーロッパで最も大きな工場の一つにまで再成長するのです。



ピアノにとって最も重要な素材の一つである木材には細心の注意が必要です。木材にとって最も負担の無い形で加工することが良い響きを得るためには不可欠であり、それには永年蓄積された熟練の技が必要で、これは時代が経っても変わらないことの一つです。



1900年頃のピアノ製造に従事する職人達の様子

職人たちは自らの仕事に誇りを持ち、その気持ちが演奏者を強く惹きつけます。



1992年になると高品質のグランドピアノとアップライトピアノを製作するベヒシュタイン社がツインマーマンの製造を継承します。そして、ツインマーマンの生産拠点の一つであったザクセンのザイフェナースドルフはヨーロッパで最も重要なピアノ製作の工場の根拠地となっていきました。ここで生産されるツインマーマンはベヒシュタイン社のセカンドブランドとして扱われ、このジャンルにおいてマーケットリーダー的な存在になり、ドイツでの生産は2011年まで続きました。

近年ヨーロッパも激しい変化の時代を迎え、ベヒシュタイン社も体制の再構築をする必要に迫られました。その再構成の一環としてツインマーマンはベヒシュタイン・ブランドへの入門機種に位置づけられることになりました。しかしこれは唐突なことではなく、むしろ原点回帰といえることができます。ツインマーマンは戦前のヨーロッパにおいて量産型のピアノとして一世を風靡していました。こうしたピアノを広く普及させたいというツインマーマンの元々の理念とブランド力を最大限活かす為に普及・入門機種へと再編成されることになったのです。その他のブランドも、その上のクラスである“W.HOFFMANN”、上位クラスの“BECHSTEINプレミアム”、そして最上位クラスである“C.BECHSTEINマイスター・ピース”と再編成されました。ベヒシュタイン社は決して立ち止まることは無く、その実績に決して甘んじることは無く、常に前を向いて進歩を続けています。それを可能にしているのがベヒシュタイン独自の研究開発室 “R&D”です。ここでは、素材、作業行程を細部に至るまで徹底的に管理し、改善発展を図ります。ツインマーマンは、こうした永年の伝統とたゆまぬ進歩の結晶なのです。



Leipziger Pianofortefabrik
Gebr. Zimmermann Aktiengesellschaft
Leipzig-Mölkau

MODELL Nr. 50
140 cm hoch
Gewicht:
Netto ca. 250 kg Brutto ca. 305 kg



ベヒシュタインの品質管理体制

様々な事情により全ての方が“BECHSTEINプレミアム”や“C.BECHSTEINマイスター・ピース”を選択できるわけではありません。しかしながら音楽は誰もが等しく平等に享受すべき人類共通の財産です。一人でも多くの方々にピアノを演奏する楽しさを感じてもらいたい、その想いからベヒシュタイン社ではピアノの専門家だけでなく、誰もが気軽に手にすることのできるピアノの生産にも重きを置いてきました。こうした活動の一つがツインマーマンの製造なのです。「高い品質と手の届きやすい価格」という相反する課題を克服したこのツインマーマンは従来基準を遥かに超えるピアノです。こうした草の根運動にも注力してきたことによりベヒシュタイン社は近年大きな飛躍を遂げています。

ツインマーマンを生産するにあたり従業員にはベヒシュタインの理念を深く理解することを求めています。ヨーロッパで実施されている品質基準を厳格に適用し、一定技術水準以上に達した従業員のみが生産のラインに入ることができます。更に全ての製造行程は細かく管理され、均一で高い品質を確かなものにします。検査に合格したピアノだけに、番号管理されたベヒシュタイン品質シールが、鉄骨上面と鍵盤拍子木上に与えられます。こうした徹底的な管理によりツインマーマンはヨーロッパ製と変わらぬ品質が保証されます。



ツインーママン その品質

選ばれた材料の特長

全てのツインーママンのピアノには、ベヒシュタインの品質管理体制によって継続的に管理運営され、高い品質が保証されます。

その響きに心が奮わされるベヒシュタイン。ツインーママンのピアノの音色は、豊かで透明感があり、変化に富んでいます。これまでの同価格帯のピアノの常識を大きく覆す逸品と言えるでしょう。

ツインーママンのグランドピアノとアップライトピアノはベヒシュタインの技術水準を満たしております。お手頃な入門用ピアノをお探しの演奏者の最初の選択に適しています。

バックと響棒	－ 全体に木材を使用 － CNC(コンピューター数値制御)による精密加工
響板	－ 欧州トウヒ材／環境の変化にも強い接着
ピン板	－ プナ材・カエデ材積層合板 － 最小厚み 32 mm
鉄骨	－ 鼠鑄鉄 － CNC(コンピューター数値制御)による精密加工
弦	－ レスロー (Röslau)／ドイツ製
キーフレーム	－ 欧州トウヒ材／プナ材 － 理想の安定性
アクション	－ 完全設計仕様 － ヨーロッパ整調
ハンマーヘッド	－ ヨーロッパ製フェルト、無垢材ハンマーウッド
ペダルシステム	－ 微調整可
全体加工	－ 一定気候環境管理



一つ一つのアクション部品は均衡の取れた寸法で設計され、変化の少ない高品質なアクションです。ツインマーマンのアクションは、プラスチックを使用せず木材部品で組立てられています。ベヒシュタイン設計のツインマーマンはここでも細かいこだわりを見せ、心地よいタッチ感、軽快な連打性、高い操作性を可能にしています。

スタンダード・ラインの優れた構成要素

ベヒシュタイン社独自の研究開発室である"R&D"のスタッフは、最新の知識を基にピアノを開発します。ここで開発された技術力を惜しみなく注ぎ完成したのが"ツインマーマン"なのです。それは、ツインマーマンがベヒシュタインの遺伝子を継承している事を意味しています。

ピアノを一目見ればその価値の高さは一目瞭然です。鉄骨や、弦、アクションも、全てベヒシュタインの水準をクリアしています。



十分に乾燥させ安定した木材のみで組立てられる支柱は、弦の張力を鉄骨と共に支えます。この保持力が安定したピアノの音、そして安定した調律をもたらすのです。



ハンマーは高価なハンマーウッドと最高の羊毛のみを選別し作られます。ピアノの音色を決定づけるハンマーへの強いこだわりは、1853年から代々受け継がれるベヒシュタインの根本方針です。

HZ 120

HZ 126

16

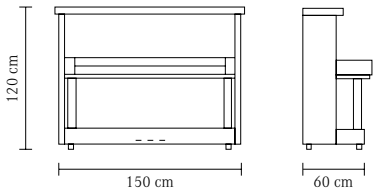


17



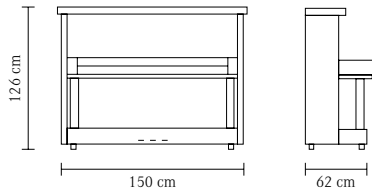
外 装	：黒艶出
大きさ	：H 120 × W 150 × D 60 cm
重 量	：255 kg

頑丈でしっかりとした楽器です。
弾き心地がよく、また驚くほどの響きの広がりを感じさせます。
お部屋の中にすっきり収まるお手頃なサイズです。
クラシック調のデザインで、細部にまで精巧に製造されています。
演奏するたびに楽しくなり、特に入門向けとして理想的なピアノです



外 装	：黒艶出
大きさ	：H 126 × W 150 × D 62 cm
重 量	：275 kg

バランスがとれ円熟した外観と構造で、重厚感のある音色で演奏することができます。
飽きの来ないデザインは、ずっと持っていたいと思わせる魅力があります。
このピアノは、高度な要求の多い音楽愛好家の求めるニュアンスを可能にし、またボリューム感のある音量を出せます。
この楽器で素晴らしいピアノのレッスンもできるでしょう。



HZ 120

HZ 126

HZ 160 / HZ 175 / HZ 185

HZ 175

外 装 ：黒艶出

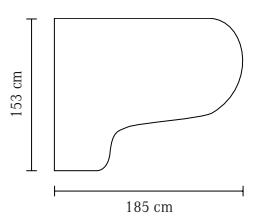
大きさ ：D 175 × W 150 cm

重 量 ：340 kg

A technical line drawing of the HZ 175 grand piano from a side profile. The drawing shows the keyboard, the curved body of the piano, and the hammer flange. Dimension lines are used to indicate the overall size: a vertical line on the left indicates a height of 150 cm, and a horizontal line at the bottom indicates a length of 175 cm.

弾き心地の良さと、響きの拡がりのあるグランドピアノとして評価されています。ボリューム感と調和のとれた音色のバランスは納得させられます。この中間サイズのグランドピアノは、楽器の価値を一つにまとめられているかのようです。非常に反応のよいタッチであるため、演奏者の意図をあますところなく感じ取ってくれます。また材質も厳選され、高度な技術によって製造されています。

HZ 185

外 装	：黒艶出
大きさ	：D 185 × W 153 cm
重 量	：360 kg
	

より豊かな響きとボリュームを求める人にとっての真の音楽のパートナーです。

練習量の多い人や要求の高い演奏家たちには、ダイナミックで圧倒的な響きと、その弾き心地のよさに納得するでしょう。

品質の良い材料を惜しみなく使用し、ベヒシュタインの高度な技術による品質管理によって、ヨーロッパ基準の品質のピアノであることを保証します。ぜひ弾きくらべてみてください。

ツィンマーマン グランドピアノ



